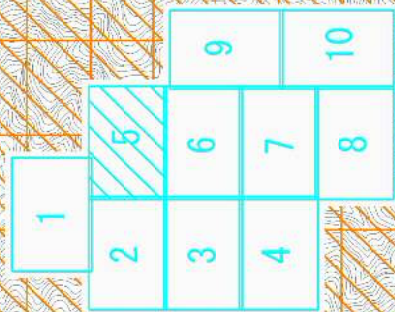
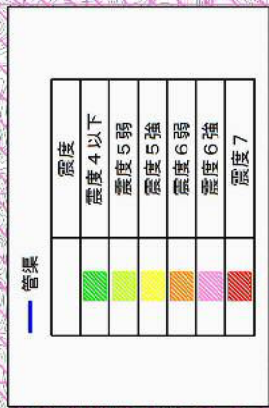


震度想定マップ(5/10)

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯(震度7) S=1:25,000

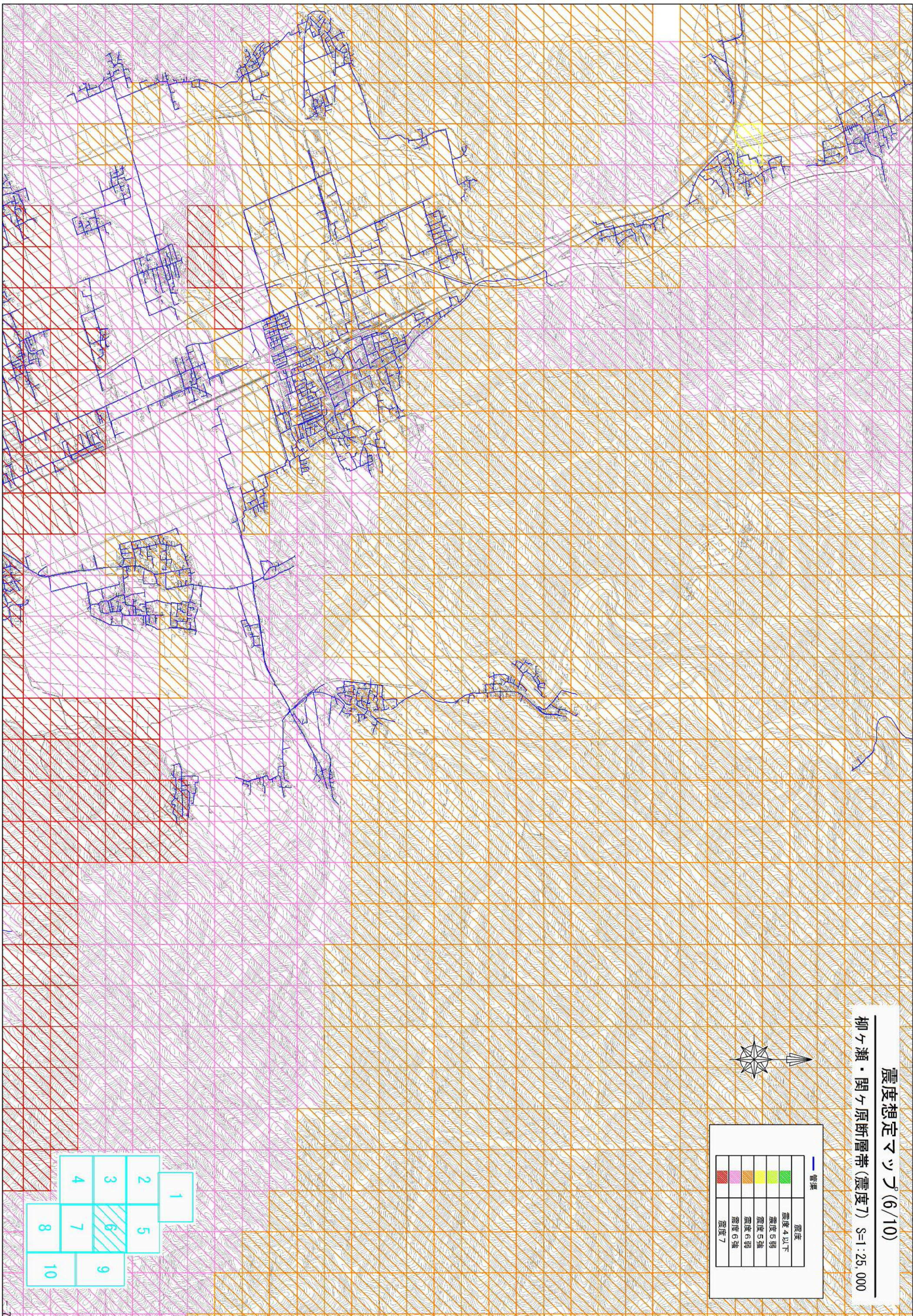


震度想定マップ(6/10)

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯(震度7) S=1:25,000



— 管渠	
震度	
震度4以下	緑
震度5弱	黄緑
震度5強	黄
震度6弱	オレンジ
震度6強	赤
震度7	紫

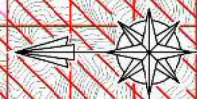


震度想定マップ(7/10)

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯(震度7) S=1:25,000

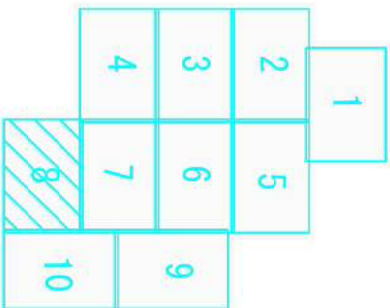
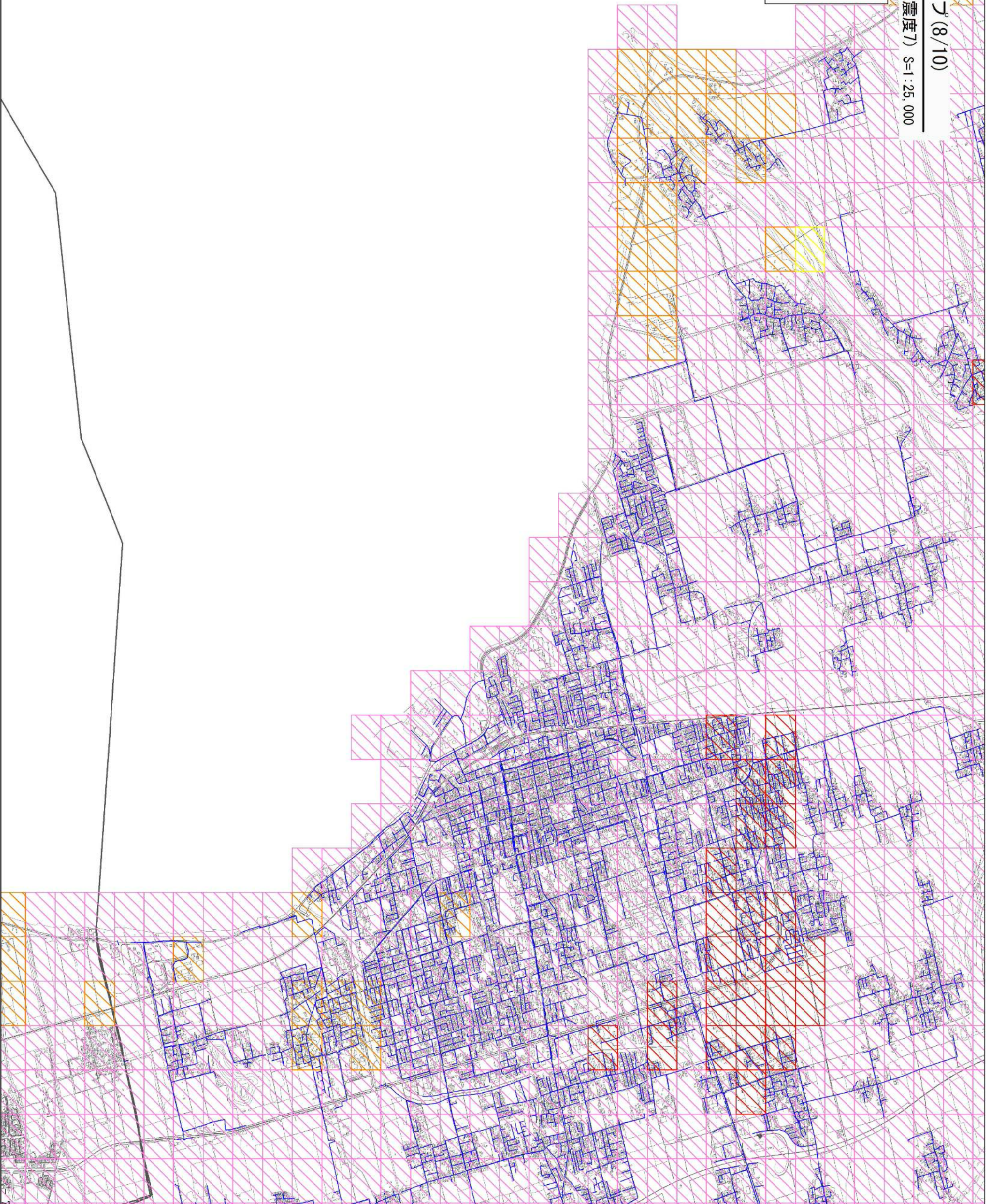
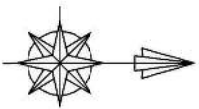
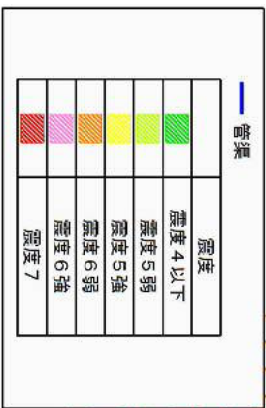
震度	
震度 4 以下	震度 7
震度 5 弱	震度 6 弱
震度 5 強	震度 6 強
震度 6 弱	震度 7
震度 6 強	

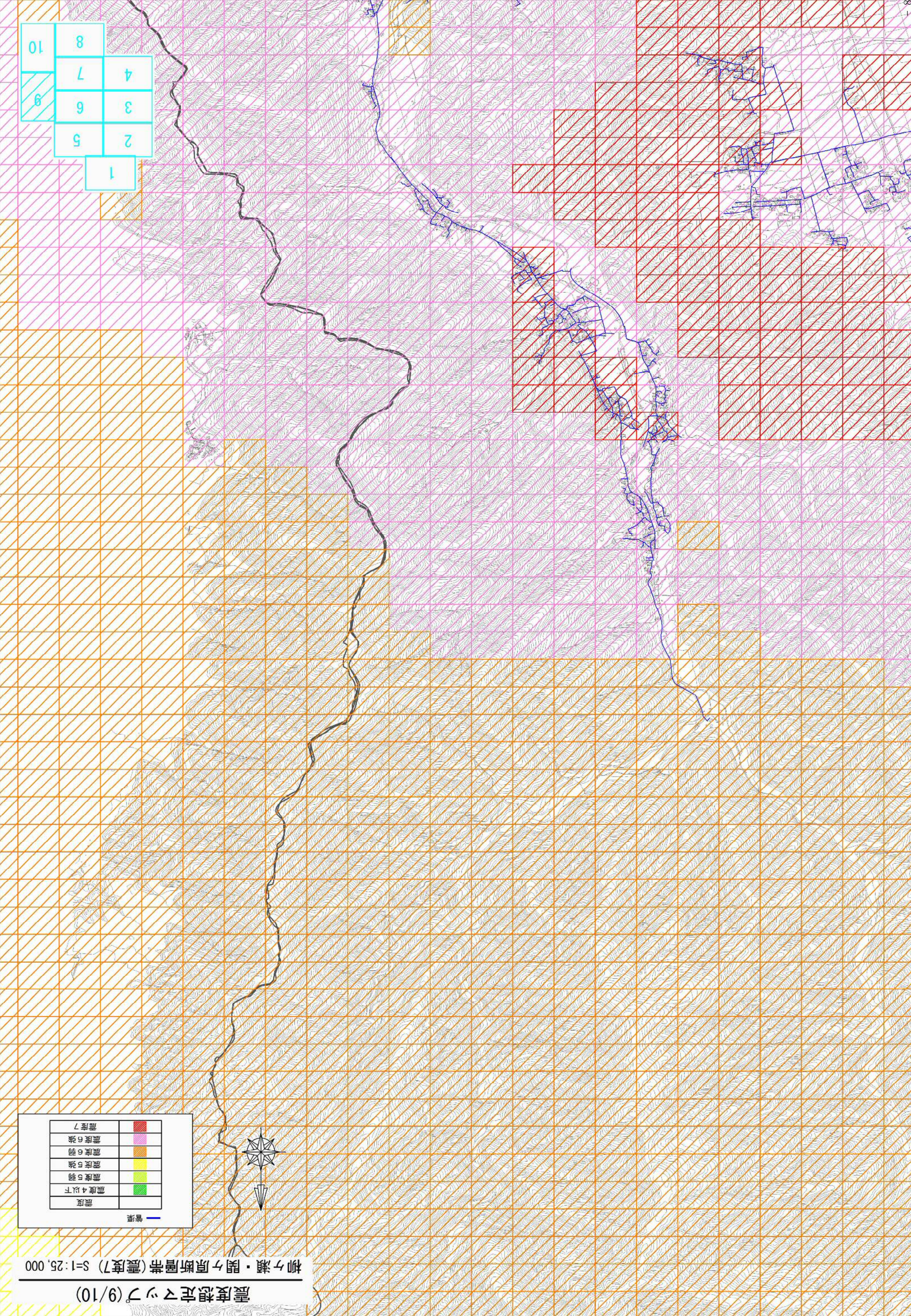
管渠

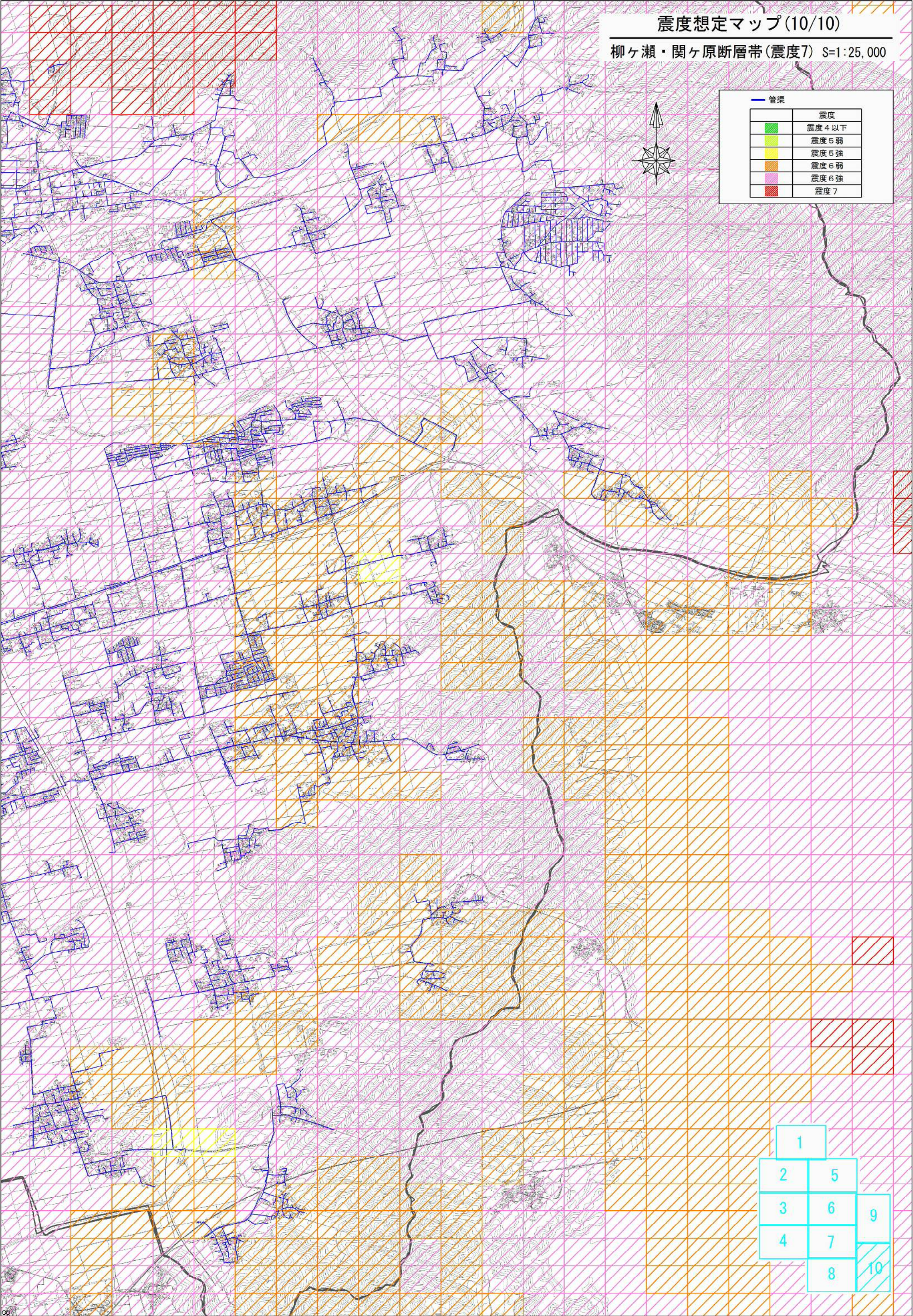


震度想定マップ(8/10)

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯(震度7) S=1:25,000







7.4.3 長浜市地震ハザードマップ

震度分布図

震度分布図

長浜市 地震ハザードマップ

地震ハザードマップとは、想定される地震による震度(揺れの程度)を示したマップです。
滋賀県の被害想定に基づいて作成しています。

長浜市にとって防災上特に考慮すべき想定地震

長浜市周辺の活断層及び南海トラフによる地震の中でも、長浜市にとって特に考慮すべき地震は、最大被害をもたらす可能性がある「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯による地震」と、画内防災のみで対応すべき状況に陥る可能性がある「南海トラフ巨大地震」です。

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震

【柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯の概要】
福井県福井市から岐阜県岐阜市まで、長浜市(旧木之本町)を経て、岐阜県岐阜市に至る柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯と、福井県敦賀市の近江町付近から敦賀湾を横切り、長浜市(旧余呉町)に至る「蒲原-柳ヶ瀬山前断層帯」からなっています。

南海トラフ巨大地震

【南海トラフの概要】
日本列島が位置する大陸のプレートの下に、海洋プレートのフィリピン海プレートが約100kmの割合で沈み込んでいる場所です。この沈み込みに伴って、南海トラフの断層には約100〜200年の間隔で激震が繰り返されています。

